



CONTENTS

- ◆ 後援会会長あいさつ ······ 1
- ◆ 教育学部長あいさつ ······ 2
- ◆ 学部からのお知らせ ······ 3
- ◆ 学生の年間スケジュール紹介 ··· 4
- ◆ 卒業生の声 ······ 8
- ◆ 後援会活動の概要 ······ 10
- ◆ 後援会幹事名簿 ······ 11
- ◆ 学生支援事業のお知らせ ······ 12



今こそ前向きに！

後援会会长 高橋 克裕

新入生並びに保護者の皆様には、御入学を心よりお祝い申し上げますとともに、教育学部後援会の会員となられましたことを歓迎申し上げます。また、会員の皆様には、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。私は、本年度会長を務めさせていただくことになりました高橋と申します。何卒宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症の影響により、卒業式、入学式が中止となり、人生の節目となる晴れの舞台を心待ちにされていた皆様には、非常に残念な思いをされたと拝察しますとともに、大学関係者の方々におかれましては、健康と安全を最優先としつつも断腸の思いの中での決断であったことと思います。このような中で、大学では長期間の休講への対応はもとより、学生の感染防止対策やアルバイト収入減少などへの生活の支援、心身の健康管理に至るまで、きめ細かな対策を迅速に実施いただいていますことに保護者として感謝申し上げます。また、学生への支援として、教育学部同窓会からご寄付を賜りましたほか、支援金のご寄付や教職員の皆さま、地域の方々などからお米や野菜などの食料品のご寄付があり、学生に配布していくいただきましたと伺っております。大学内外の方々から心温まるご支援をいただき、学生の皆さんも大変励まされ、皆様に支えられて学生生活を送っていることを改めて感じたのではないでしょうか。

島根大学に関わる新聞記事を目にしました。感染予防のためオンライン授業となっている中、教育学部の

学生など先輩3人がビデオ会議アプリなどを使用した新入生の相談支援を行っているとのことです。新入生にとって先輩からの情報収集は貴重なものであり、キャンパスに通い難い状況の中で大変心強い取り組みであると思います。コロナ禍にあっても単なる逆境として捉えるのではなく、先輩3人の前を向いた取り組みに感心し、さらなる広がりがあればと期待をしたところです。

本後援会は、「島根大学教育学部の発展充実に寄与し、在学生の教育に関し、学部に協力すること」を目的に、昭和27年に学生を支える仕組みとして活動がはじまり、諸先輩方のご尽力により、学生の皆さんのが豊かで実りある学生生活が送れるよう取り組みを続けています。

全国で唯一の実践型学修である「1000時間体験学修」をはじめとした学部教育活動、そのほか教育実習、就職活動、国際交流活動の事業実施に係る支援、また学生の皆さんのが安全で快適な環境の中で学習に専念していただけるよう教育環境の改善充実のための支援などの事業を行って来ております。今後は、本後援会としましても、「新しい生活様式」と言われる中で、新たな取り組みを行っていく必要もあるかと思います。

皆様におかれましては、後援会の事業に対しましてご理解を賜りますと共に、学生生活がより実り多きものになりますよう、後援会の活動に一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



未来のための教育 －教育学部がめざすこと－

教育学部長 加藤寿朗

はじめに、新型コロナウイルスに罹患された方々に快復を願い心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されている医療従事者、及び関係者の皆様に深謝申し上げます。

島根大学では、この度の新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、令和元年度の卒業式、及び令和2年度の入学式を大変残念ですが中止することとしました。卒業生や新入生の皆さんはもちろん、ご家族におかれましては、人生の新しいスタートの節目となるこの式典を心待ちにされていたことと思います。また、令和2年度前期の授業開始時期を3週間繰り下げたり、原則として全ての授業をウェブ等を活用した遠隔授業にしたりするなど、学生並びに保護者・ご家族の皆様にご不便やご迷惑をおかけしています。これも健康と安全を最優先しての措置であることをご理解いただきますようお願いいたします。想定外の緊急事態ではありますが、教育学部として学生の学修をしっかり支援するように最大限努めてまいります。

さて、島根大学教育学部は平成16年に鳥取大学教育地域科学部（現在の地域学部）との再編・統合を行い、山陰地域の教員養成を担う基幹学部として生まれ変わりました。そして、体験型学修や多角的評価システムなど特色ある教育活動を行ってきました。文部科学省より公表されている国立教員養成大学・学部の就職状況（平成31年3月卒業者）では、本学部の教員就職率（61.9%）は全国15位（44大学中）という結果でした（全国平均は58.4%）。都市圏にくらべて教員採用数が限られた地域にあっても、全国の平均就職率に引けをとらない水準を維持してきたところです。これも、学生個々人の学修努力とともに、教育学部後援会の心強いご支援があつてのことであり、あらためて感謝申し上げます。

一方、子どもの成長を支える教育への期待は益々大きくなっています。全国の小学校では今年度より新しい学習指導要領に基づく教育課程が全面実施されました。中学校は来年度、高等学校は再来年度に完全実施の予定です。これから学校に求められるのは、子どもたちの15年後、20年後のための教育や生涯学習の基盤となる教育です。大きく変化する社会、先を見通すことがますます困難になる社会、そのような社会でたくましく生きていくために必要な「未来のための教育」が必要でしょう。そして、そのような現代的・地域的な教育課題に主体的に対応し、よりよい教育を通して、よりよい社会を創り出していく教師が今、求められています。

本学部は、よりよい社会を創造する教師を育てるために、先行的に取り組んできた特化型学部としてのカリキュラムの利点を生かしながら、平成29年度に学部教育をリニューアルしました。子ども理解と教科の専門性の修得を目指す小中学校免許状併有カリキュラム（主副専攻制）や、地域社会との関わりの中で学ぶ1000時間体験学修、様々な他者と語り合いながら教職をより深く理解する教師力パワーアップセミナー・未来教師塾など、独自の教育システムで教育現場に求められる教員に必要な「教師力」の育成に取り組んでいます。

後援会の皆様には、学内環境整備はもとより、学生の体験学修に必要な旅費の援助、就職支援の一環としての教員採用試験対策用図書の整備や就職に関わる諸訪問のための交通費の助成など、本学部の教育活動を様々な側面からご支援いただいています。

教師を目指す「夢」と「志」を持った学生を今後も教育学部の全教職員が一丸となって支援していく所存です。後援会の皆様には、益々のご支援・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

同窓会、卒業生の 皆様からの寄附について

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により困窮する学生への支援として、教育学部同窓会、旧保健体育研究室卒業生の皆様から寄附をいただきましたので、ご紹介します。

なお、貸出用ノートパソコンの購入やウイルスの感染対策に必要なものの購入に使用させていただくこととしています。

○教育学部同窓会からの寄附

5月15日(金)に同窓会幹事の原広治教授から、加藤学部長に目録が贈呈されました。



○教育学部旧保健体育研究室卒業生の皆様からの寄附

①7月7日(火)に「世に(42)出る会」(旧保健体育研究室昭和42年度入学生有志の会)の代表の皆様から、加藤学部長に目録が贈呈されました。



②7月16日(木)に旧保健体育研究室の昭和46年度～平成10年度の卒業生有志の代表の皆様から加藤学部長に目録が贈呈されました。



入門期セミナー

《入門期セミナー》

初年次教育プログラムの一つである1泊2日のセミナーです。1000時間体験学修プログラムを理解し、4年間の大学生活の見通しを持つことを主な目的としています。4年間を共に過ごす仲間や学生スタッフの先輩との2日間の関わりを通して、幅広い人間関係を築くことができます。

1年生にとって、大学生活への期待がふくらむ有意義なセミナーです。

教育学部で
学ぶこと

1年前期に開講される、専門教育科目的基盤となる科目です。文献検索やレポート作成など、大学生としての基礎的なアカデミック・スキルを身につけるとともに、授業観察や授業協議など、教育学部生に必要となる技術を身につけています。また現代的教育課題についての理解に基づいて、自らの進路に応じた履修モデルを構想します。

大学祭

松江キャンパスでは、「淞風(しょうふう)祭」という名称で毎年10月に開催されています。



基礎体験交流会

1・2年生を対象とした基礎体験の意見交換会です。先輩や他専攻生の話を聞き、今後の各自の基礎体験活動の充実を図ります。

◎○ 学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◎○入学式・オリエンテーション							◎○大学祭			◎○基礎体験交流会	
◎○入門期セミナー		◎○地域理解セミナー		◎○主専攻決定	◎○スタートアップセミナー			◎○介護等体験登録締切	◎○介護等体験説明会		
◎○専攻決定ガイダンス						◎○在学生ガイダンス				◎○副専攻決定	
◎○一般教養からだめし★教職志向性調査					◎○副専攻仮決定(年度末に決定)						
		◎○学校教育実習Ⅰ									
		◎○学校教育実践研究Ⅰ									
		◎○基礎体験合同説明会									
		◎○基礎体験活動開始									

学校教育実習Ⅰ
教職志向・進路調査

附属幼稚園・附属義務教育学校で5日間、午前中は授業観察を行い、午後は大学で観察のまとめと振り返りを行います。(前期・20時間)

基礎体験活動開始
(1000時間体験学修プログラム)

必修の100時間(基礎体験セミナー・介護等体験など)と選択の540時間の時間認定が必要です。選択の活動では、地域のイベントや社会教育施設の活動、小・中学校での学習支援など、多様な活動に参加できます。



学校教育実践研究Ⅰ

学校教育実習Ⅰと連動して水曜3コマに開講されるコア授業科目です。大学4年間の学びにおける教育実習の位置づけを理解するとともに、「教わる側」から「教える側」への視点の転換を図ります。また、学校教育実習の期間中には、自ら作成した授業(保育)記録に基づいて建設的な授業協議を行うための基礎的な技能を身につけます。(前期・20時間)



地域理解セミナー

これから本格的に基礎体験活動を始める1年生対象の基礎体験セミナーです。地域における学校現場以外での教育活動について理解を深めたり、基礎体験活動におけるルールやマナーについて確認したりして、安心して活動に取り組むことができるためのセミナーです。

スタートアップセミナー

入学時からの基礎体験活動の取組を振り返る基礎体験セミナーです。体験時間の確認、活動参加への心構えや手続きの再確認を行います。また、小グループに分かれて体験発表会などをを行い、今後の活動をさらに充実させていくためのセミナーです。



学校教育実習Ⅱ

附属学校園で行う教科指導を中心とした観察実習です。主専攻に対応する校種・教科の授業参観・授業協議を行い、ポートフォリオを作成するとともに模擬授業演習等を行うことによって授業設計の基礎を培います。3年生で行う実習Ⅲを履修するためには、2年生終了時までに別途定められた履修資格を満たしている必要があります。（通年・20時間）

充実期セミナー

2年生を対象に開催される基礎体験セミナーです。各自の取組の傾向をもとにしたグループでの活動を通して成果や課題を明らかにすることを目的としています。また、学内資格を取得している先輩からのアドバイスを受けることもあります。



教師力パワーアップセミナー

教師力パワーアップセミナーは教員採用試験への対策や教職をより深く理解するための取組です。2月末の「宿泊研修」には2年生から参加できます。教員採用試験の合格者や現役教員である先輩との交流会もあります。



◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◎在学生ガイダンス					◎充実期セミナー			◎教員採用試験合格者体験報告会		◎基礎体験交流会	
◎健康診断					◎学修ポートフォリオ(LP)作成説明会			◎LP返却		◎教師力パワーアップセミナー	
◎介護等体験事前指導					★LP入力	★LPまとめ					
★教職志向性調査					★教職志向性調査			◎C系・G系			
◎学校教育実習Ⅱ					◎在学生ガイダンス					◎LP提出締切	
◎介護等体験											

学修ポートフォリオ (LP)

大学での学びの状況は、履修単位の成績評価だけで計ることできない広がりをもっています。「学修ポートフォリオ (LP)」は、そのような学生一人ひとりの学びの成果と軌跡を記録する「カルテ」です。これまでの「プロファイルシート」から新しく「学修ポートフォリオ」へとシステムを変更し、より入力しやすくなりました。「学修ポートフォリオ」の作成は、4年間で3回、大学生活の節目の場面で行います。その目的は、教師に必要な能力の総体である「10の教師力」の修得状況を、複数の評価視点（自己評価、他者評価、客観的評価）からレーダーチャートや言語による可視化することにより、学びの状況とこれからの目標を確認することにあります。数値だけでなく、ポートフォリオを仲介とした指導教員と学生のコミュニケーションを大切にしています。

C系・G系

学校教育体験領域における実習で、1000時間体験学修の体験時間としてカウントされます。2年生の後期と3年生の前期に開講され、半期毎にどちらかを受講することになります。C系は個人（子ども・保護者）に対する支援（Counseling）を想定した実習で、相談場面のロールプレイを通して、よりよい聞き方や相手の気持ちに添う関わり方にについて学びます。G系は学級集団形成など集団における支援（Group approach）を想定した実習で、自分や相手の特性に関する気づきを促すグループ活動を通じて、よりよい学級集団づくりの技能を学びます。
(2年後期・3年前期 各20時間)



介護等体験

特別支援学校及び社会福祉施設（老人ホーム等）で、あわせて7日間の体験を行います。

〈内訳〉

- 島根県又は鳥取県内の特別支援学校での体験（2日間）
 - （例）授業の補助、学校行事等校務全般にわたる補助等の体験等
- 島根県内の社会福祉施設（老人ホーム等）での体験（5日間）
 - （例）介護・介助、障がい者等の話し相手や散歩の付添い等の交流の体験、掃除や洗濯等受入れ施設の職員に必要とされる業務補助等の体験等

学校教育実践研究Ⅱ

学校教育実習Ⅲ・Ⅳと連動して開講されるコア授業科目です。主専攻に対応する校種・教科の授業実践に焦点化し、授業分析や教材研究、学習者理解を基本とした教材制作のトレーニング、学習指導案作成と模擬授業を行います。また事後指導では、自らの実習を深化・発展させるためのふりかえりを行います。(通年・40時間)

学校教育実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

●学校教育実習Ⅲ（前期・40時間・1単位）

主専攻に対応した教育実習です。附属学校の授業観察を通して、授業を「教師と学習者のコミュニケーションの総体」として把握し、学校教育実習Ⅳに必要な授業実践力の基礎を培います。

●学校教育実習Ⅳ（後期・120時間・4単位）

主専攻に対応し、授業実践に主軸を置いた教育実習です。教科指導をはじめ、学習集団の形成や学級経営に係る実践的トレーニングを行い、教職へのより深い理解と基礎的な実践力の育成を図ります。

●学校教育実習Ⅴ（後期・40時間・1単位）

副専攻の校種・教科に対応した観察実習主体の教育実習です。学齢期にある子どもの「成長」、「発達」をより長いスパンから捉え、子ども理解を深めます。

スクール・インターンシップ

3年生の後期は実習セミナーとなっています。この期間に教育実習Ⅳ・Ⅴを行いますが、実習を行わない期間を活用して特別に用意されたスクール・インターンシップを行います。公立小中学校を中心に教育体験に行くことができ、教育実習とこの学外教育体験を往還させることによって、より幅広い教師力を身につけることが期待できます。

	◎学部(大学)行事等	★Web入力(必須)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実習															
	◎学校教育実践研究Ⅱ								◎スクール・インターンシップ						
					◎学校教育実習Ⅲ			◎スクール・インターンシップ 説明会	◎学校教育実習Ⅳ		◎学校教育実習Ⅴ				
講義・その他	◎在学生ガイダンス ◎健康診断 ★教職志向性調査 ◎C系・G系							◎在学生ガイダンス		◎面接道場 ◎学修ポートフォリオ(LP)作成説明会 ★LP入力 ◎LP返却 ◎応用期セミナー ◎教員採用試験スタートガイダンス ★教職志向性調査			◎教師力パワーアップセミナー		

面接道場

外部の目を通して、教育学部学生に対する期待や要望を学ぶ機会が特別に設けられています。それが「面接道場」です。人生の達人である学部評価委員の方々が、面接を通して社会人としての基本的な資質を伝授してください。



応用期セミナー

3年生対象の基礎体験セミナーです。スクール・インターンシップ及び教育実習での活動を振り返り、今後の大学生活を展望するとともに、進路決定に向けての自己啓発を促す時間とします。学外体験活動や教育実習での学びの発表会や進路希望別グループでの協議を行います。



教師力パワーアップセミナー

教師力パワーアップセミナーは教員採用試験への対策や教職をより深く理解するための取組みです。2月末の「宿泊研修」に始まり、教員採用試験の面接対策や卒業後の教員生活ですぐに必要となるスキルを研修します。教員採用試験合格者や現役教員である先輩との交流会もあり、不安や悩みを解決できるセミナーです。



学校教育実習VI 幼稚園実習

それぞれの教職志向に対応し、主体的に選択する学校教育実習科目です。取得したい免許状に基づき、学校教育実習VI、幼稚園実習のいずれかを選択します。

学校教育実習VI（前期・40時間・1単位）[選択]
幼稚園実習（前期・80時間・2単位）[選択]

発展期セミナー

4年生対象の基礎体験セミナーです。4年間の大学生活で、自ら選択して取り組んできた基礎体験活動について振り返ります。基礎体験活動の成果や、自己の在り方への影響度などを協議することを通して、自分自身の学修の総括を行います。



学生教育情報

これらの情報は、同学年や全国の動向などをふまえ、みなさんの就職支援を行う上で有益な情報となります。たとえば、あなたの現在の履修状況と進路希望とのより良い組み合せが発見されるかもしれません。また、教員採用試験を受験する予定の県の情報をログシステムで把握したり、就職を希望する県教委から依頼があった際に、素早く連絡を受けて就職につなげることもできます。

◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須) ■教員採用試験関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卒業研究												
教員採用試験												
その他												

◎題目提出締切り(指導教員に提出)

◎口頭試問
◎卒業演奏試験(音)
◎卒業論文提出
◎卒業作品提出(美)

■願書提出
◎教師力パワーアップセミナー
◎願書添削セミナー
◎マナーアップセミナー

■一次試験
■二次試験
■講師登録
■合格発表
■合格発表

■各教育委員会による合格者研修
■勤務校決定
■講師採用の連絡

◎学校教育実習VI
◎在学生ガイダンス
◎健康診断
◎進路希望調査

◎発展期セミナー
◎教育職員免許状申請手続
◎在学生ガイダンス(就職・進路調査)
◎学修ポートフォリオ(LP)作成説明会
◎LP入力
◎教職実践演習
◎さらに自分を磨く基礎体験(学校体験を中心には)
◎大学院出願(I期)
◎大学院入試(I期)
◎1000時間体験学修時間認定締切り
◎大学院出願(II期)
◎大学院入試(II期)

◎卒業式
[LP返却]
◎進路状況調査

★教員採用試験・就職活動で変化がある度に就職支援室に報告する。

○教員採用試験 先輩からのアドバイス○

- ◆受験する都道府県を早めに決め、出題傾向を分析
- ◆試験問題にはヤマをはらずに、分析結果をまんべんなく
- ◆二次対策(面接、実技など)も早めに
- ◆提出物は早めに作成、必ずコピー、早めに提出、必ず誰かに読んでもらう
- ◆問題集・参考書はあれこれ手を付けても意味がない、同じものを何回も
- ◆先輩のアドバイス、体験談は何よりも貴重
- ◆自分の試験勉強のリズムを早く見つける(息抜きの時間も必要)
- ◆友達の良いところはどんどん真似して取り入れる(仲間は大切)

未来教師塾

教員採用試験対策

〈教師力パワーアップセミナー〉

- ◎主に面接(集団・個人)、集団討論の練習をします。
- ◎教育学部の教員や学外の教育関係に携わっている方が面接官をしてください。ここでのアドバイスはとても重要です。

〈就職支援室〉

- ◎証明写真の試し撮り、面接の様子を撮影してくれるサービスを開始
- ◎各都道府県の教員採用試験動向情報を提供
- ◎その他の就職相談

〈その他〉

- ◎教員採用試験受験テキストブックをチェックする
- ◎各種セミナーに積極的に参加する。



卒業生の声

置かれた場所で咲きなさい

健康・スポーツ教育専攻 伊藤 涼基



大学受験をする高校三年生の段階で、自分は島根大学に行きたいと考えたことは一度もありませんでした。第一志望の大学に入学することができなかつたので、すっかり元気を失っていました。しかし、入学時は萎えていた自分が大学で首尾一貫したことは常に楽観的にいふことでした。学業だけでなく、4年間所属した部活動も、6つを掛け持ちしたアルバイトも、教員採用試験ですら全て「なんとかなるでしょ」と樂観的にいました。そして、樂観的に過ごす上で必ず必要になるのがどんな状況でも楽しむために「最善を尽くす努力を惜しまない」ことだと思います。最善を尽くしたのだからと割り切れるまで何事も真剣に取り組むのです。この真剣に取り組む過程があれば、結果は後から付いてくると思います。その甲斐あって島根大学の教育学部で4年間を過ごしてみて、学年を重ねるたびに人として、そして教師の卵として成長することができました。

新入生の皆さんに伝えたいことは、第一志望であろうがなかろうが縁あって入学したこの島根大学教育学部でこれから何をするのかが重要であるということです。いわゆる、「置かれた場所で咲きなさい」ということです。何事も他人任せではなく、平等に与えられている大学生としての時間を主体的に真剣に楽しむために使ってみてください。島根大学教育学部の先生方や同期の仲間は距離が近く、雑談から悩みごとまで親身になって解決してくれると思います。そして大学生活が終わる頃にはこんなに成長したなあと必ず実感できます。

春から、岡山市の中学校で保健体育の教員として教壇に立ちます。新天地である教育現場ではこれから新たな学びを重ねていきます。楽しいことも悩むこともあるとは思いますが、失敗も成功も楽しみながら子供達と成長していきます。(※現 保健体育科教育専攻)

夢を叶える

初等教育開発専攻 吉木 彩華



「小学校の先生になりたい」という思いを小学生の頃からもち続け、島根大学教育学部に入学しました。この思いを持った時は、明確な理由はなく、私の中の「小学校の先生像」は、自分が今まで見てきた先生だったため、教師になるためにはどのようなことを学び、どんな資質や能力を身につける必要があるのか分かりませんでした。実際に大学の授業や教育実習などで、教師に必要な知識や考えを学んだり、実習で授業をしたり、子どもたちと関わる中で、教師という仕事の大変さや責任の重大さを感じ、小学生の頃からずっとなりたかった小学校の先生になることを諦めようと思ったこともあります。しかし、子どもたちの無邪気な笑顔や失敗しながらも頑張る姿を見たとき、頑張る子どもたちを近くで支えたいと思い、また私自身も子どもたちからたくさんことを学んで、ともに成長していきたいと思いました。「人を育てるのは人」という言葉がぴったりだと思いました。

私は鳥取県出身で、卒業後は地元で教師として働きたいと考えていました。島根大学教育学部でよかつたと思うことは、島根大学附属小学校での教育実習で学んだことを深めるために実習セメスターで自分が学びたいだけ、教育実習とはまた違った体験・学びができることです。実習セメスターでの体験は「小学校の先生になりたい」という気持ちをより強くしました。また島根大学には鳥取県の教育について詳しい先生がおられ、鳥取県の教育に関連する情報が得られること(このことは教員採用試験の際もとても役に立ちました)、そして何より、同じ夢に向かって頑張る友人が周りにたくさんいることです。

4年間の学生生活を過ごす中でもちろん大変なことや、結果がなかなかついてこないこともたくさんありました。しかし、こうして振り返ると無駄な経験ではありませんでした。春から鳥取県の小学校教員として精一杯頑張ります。(※現 小学校教育専攻)

夢を叶える場所

言語教育専攻（国語教育コース） 小町 大樹



私は、島根大学教育学部で4年間を過ごし、学校の先生になりたいという夢を叶えました。4月から、広島県の中学校で国語の先生をします。4年間を振り返ってみると、教育学部で過ごした日々は、本当に充実していたなあと思います。

例えば、専攻での学び。教育学部では入学後、自分が専門としたい分野を教科や校種などから選択することができます。私は国語科を専門に学ぶ、国語教育コースを専攻しました。将来教員になった時、教科専門知識と教科教育のスキルはとても大切な力です。国語教育コースでは、近現代文学や中古文学、それから古代中国文学、また日本語そのものについて学ぶ日本語学など、国語科において扱う内容を、高校よりも深く専門的に学びます。また知識を蓄えるだけではありません。国語教育学では、国語の授業をどう行うかを学び、教科教育のスキルを身に付けます。このように、専攻の学びでは教員になった時、必要となる力を身に付けることができます。専攻での学びから、ぜひ自分の力を高めてくださいね。

教育学部の学びは、座学だけではありません。1000時間体験学修も教育学部の魅力です。この体験学修では、地域へ出かけて子どもたちと関わり、教育者としての視点や考え方を学びます。活動で関わる子どもたちは、私たち学生にたくさんのこと教えてくれます。体験学修を通して、座学ではできない貴重な学びをしてみてください。

この他にも、学びあえる仲間がいたり、先生たちが手厚いサポートをして下さったり、教育学部で過ごす4年間は本当に充実しています。島根大学教育学部は、学校の先生になりたいという夢を、叶えることができる場所です。たくさんのこと経験して、自分の夢に向かって頑張ってください！

(※現 国語科教育専攻)

学び、成長していく楽しさ

初等教育開発専攻 森脇 可織



私がこの4年間で一番学んだことは、周りの人がいるから自分自身が成長できるということです。高校生まではテストのため、受験のための勉強しかしてこなかった私でしたが、大学に入って初めて周りの人と一緒に考えて、学んでいく楽しさを知りました。島根大学教育学部では、授業作りなどのグループワークや教育について議論する機会が多くあります。社会科の授業を作るために、グループの友達と境港の漁港に行き、実際にお話しを聞いて、それを基に授業内容を考えたり、算数や生活などの授業を作った際に休みの日も集まって楽しく教材作りをしました。一つの授業を作るために、友達と色々な意見を出し合い、何度も練習し合うことで、少しづつ授業力を磨いていくことができました。また、議論する中で、自分の考えを相手に伝える力、そして相手の考えから学ぶ力が少しづつ身に付いてきたと思います。このように、周りの人と共に学び、一緒に考えることで教師としての力を高めていく努力をすることができました。

また、島根大学教育学部には実習や1000時間体験などで、多くの子どもたちと関わる機会があります。それは、何よりも人として成長する機会を与えてくれるものだと思います。私は、実習や1000時間体験で子どもたちと関わる難しさを痛感しました。だからこそ、毎日自分自身の不安や悩みをノートに綴ることで、自分の短所を認識し、克服できるように、日々目標を持って努力しました。このように、大学生活で出会った子どもたち一人一人が自分自身を成長させてくれる存在でもありました。

来年度からは、島根県で小学校教員として働きます。これからも子どもたち、先生、地域の人など多くの方との出会いがあると思います。周りの人から学ぶ姿勢を忘れず、これからも人として成長し続けていきたいです。(※現 小学校教育専攻)

後援会活動の概要

1. 学生教育活動の支援

- ①1000時間体験学修、面接道場、教師力パワーアップセミナーなど学生教育活動事業経費への助成
- ②学生の体験活動等の交通費補助（全学年）
- ③学生の学会発表等の交通費補助



基礎体験活動
(1000時間体験学修)



面接道場

2. 教育実習の支援

- ①教育実習を充実させるため、各実習受入校の実習経費への助成（学生が実習で使用する文房具や教材等への助成）
- ②教育実習ワークシート作成への助成



教育実習

3. 就職活動の支援

- ①教員志望学生の援助
教員採用試験に向けての対策と指導に関する経費への助成
- ②教員採用試験受験テキストブック作成に関する経費への助成
- ③就職支援室の書籍整備等への助成
- ④企業志望学生の支援
就職ガイダンスを開催し、企業就職関連の各種セミナー等を行なう経費の助成
- ⑤4年生の就職活動の交通費補助
- ⑥教員採用試験の模擬試験の受験料補助

4. 国際交流活動の支援

釜山教育大学校（韓国）との交流事業等への助成、テキサス大学、ミシガン大学学生との交流活動への助成

5. 教育環境整備の支援

構内の教育環境の改善を図り、学生の生活環境の向上及び充実のための施設整備経費への助成（トイレ内整備、玄関の花壇整備など）



正面入口前広場の花や観葉樹

6. 広報事業の実施

後援会事業活動報告及び学部の教育・研究活動並びに学生生活の様子等をお知らせするための後援会誌を発行

7. 課外活動の支援

在学中における各種部活動、大学祭、寮祭、中四国大学学生競技大会参加等の活動費への助成

令和2年度

教育学部後援会幹事名簿

地区	氏名	在学年	学生氏名	役職
松江市	伊豫宣行	4年	伊豫月野	
飯石郡	高橋克裕	4年	高橋陽向	会長
松江市	原俊行	4年	原尚樹	副会長
米子市	山田二郎	4年	山田真太郎	
境港市	高濱禎彦	3年	高濱広海	副会長
西伯郡	中嶋盛浩	3年	中嶋盛一	
出雲市	別所祐司	3年	別所郁実	監事
松江市	松嶋博	3年	松嶋文子	
松江市	門脇晃一	2年	門脇陸	監事
出雲市	黒目久美子	2年	黒目尚志	
出雲市	園山薰	2年	園山実沙季	会計幹事
出雲市	長崎康弘	2年	長崎耕作	
松江市	有富務	1年	有富和生	
西伯郡	内田浩文	1年	内田有香	
雲南市	岡田洋実	1年	岡田郁実	
出雲市	勝田香里	1年	高木拓哉	

(順不同)

学生支援事業のお知らせ

教育学部後援会

2020年度の後援会学生支援事業として、下記のとおり実施します。

会員学生（保護者が後援会会員である学生）への補助となります。会員学生の方は遠慮なく申請してください。また、未入会の場合は、期限なく受け付けていますので、ぜひご入会ください。

全学年・院生対象

- ◆介護等体験、1000時間体験（基礎体験活動等）、実習セメスターでの学校体験活動、実習等に伴う交通費を補助します。

【5,000円まで（年間）】（松江市内でも補助）

3・4年生、院生対象

- ◆教員採用試験模擬試験の受験料を補助します。

【5,000円まで】（生協等で実施している模擬試験を対象）

- ◆就職活動（教員等採用試験の受験を含む。）の交通費を補助します。

【10,000円まで】

全学年・院生対象

- ◆学会発表等の交通費を補助します。

【10,000円まで】

○問合せ・申請先：教育学部事務スタッフルーム（165室）後援会担当

電話 32-6251（内線3521）

E-mail : edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp

○発行 島根大学教育学部後援会

E-mail edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp

ホームページURL <https://www.edu.shimane-u.ac.jp/edu/koenkai.html>

○発行日 令和2年9月30日

○発行所 島根大学教育学部内 教育学部後援会事務局

○所在地 〒690-8504 松江市西川津町1060
TEL (0852-32-6251)
FAX (0852-32-6259)

○印刷 明和印刷有限会社